

- 1 図1は、正方形 ABCD と正五角形 EBFGC を組み合わせたものです。角 ㊦ の大きさを求めなさい。

[2024 年度 第 1 回入試 大問 2(3)]

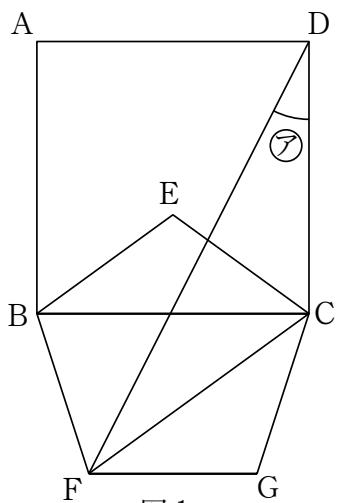


図 1

答 27 度

- 2 図 2 は 1 辺 4cm の正方形です。斜線部分の面積の合計を求めなさい。
 [2017 年度 第 2 回入試 大問 2(3)]

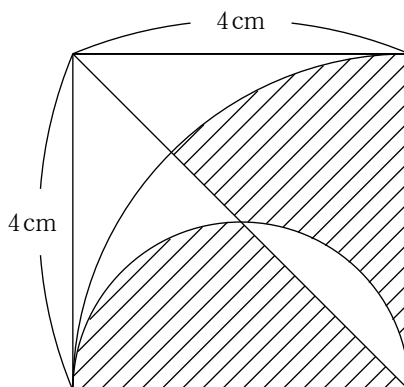


図 2

答 10.28 cm^2

- 3 図3は、大小2つのおうぎ形と正方形を組み合わせたもので、大きいおうぎ形の半径は12cmです。このとき、斜線^{しゃせん}部分の面積を求めなさい。

[2024年度 第2回入試 大問2(5)]

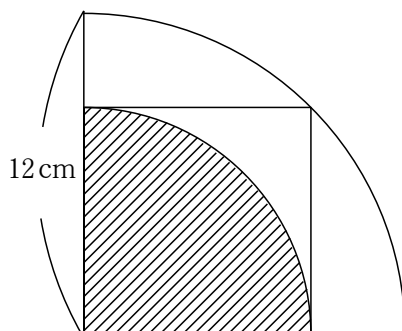


図3

答 56.52 cm^2

- 4 図4のように、1辺が12cmの正方形ABCDの中に、点B、点Cのそれぞれを中心とする半径12cmの円の部分をかきます。さらに、対角線ACをひきます。

[2021年度 第1回入試 大問4(2)]

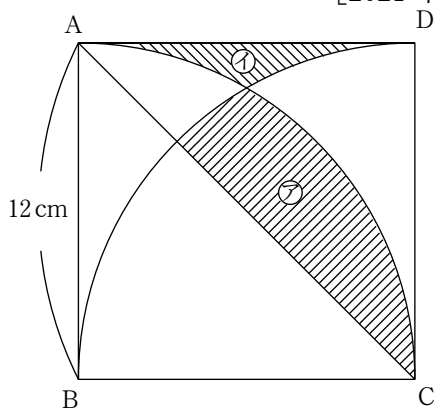


図4

- (2) 斜線部分 ^{しゃせん}ア と イ の面積の差を求めなさい。

答 25.56 cm^2